

佐渡市立高千小学校

令和7年度学校だより

令和8年2月3日 No.12

しおかせ

互いの違いを認め合う ～一人一人の違いを大切に～

校長 後藤 洋子

雪が降ると、子どもたちの目が輝きます。（お土産（氷）を持参して登校する子どもたちもいます。）1月下旬、真っ白な校庭に庁務員さんと一緒に雪山を作りました。低学年が生活科の時間に、雪と格闘しながら何やら穴を掘っていました。業間休みには上学年も参加し、かまくらの中に入り、雪山に登ったりする子どもたちの歓声で賑わっていました。まさに冬ならではの光景です。自然の恵みを全身で感じながら遊ぶ経験は、子どもたちの心を豊かにします。寒い季節だからこそ味わえる喜びを大切にしながら、2月も子どもたちとともに充実した日々を過ごしてまいります。

全校朝会で子どもたちに以下のようなお話をしました。

皆さんは、好きなテレビ番組はありますか？校長先生は、NHKの大河ドラマを楽しみにして見えています。そのドラマは「豊臣秀吉、秀長」の貧しい農家から天下統一を目指す兄弟の物語ですが、今日は兄「豊臣秀吉」と、同じ時代に有名だった「千利休」について話をします。

豊臣秀吉は、有名な戦国武将です。5、6年生が今、社会の学習で勉強していますね。秀吉さんは、1537年生まれ、今から500年ほど前の人物です。全国各地の有名な戦国大名にも勝ち、ついに天下を統一した武将です。その頃の日本で一番大きな力をもった人物です。

同じ時代の有名な人物に、千利休という商人がいます。利休さんは、17歳に茶の湯の勉強を始め、茶道を究めた人物として、茶の世界では大変に有名です。たくさん弟子もいました。

しかし、最後には秀吉さんを怒らせ、切腹を命じられ、命を絶ってしまいます。秀吉さんを怒らせたこととして、茶道具の「色」で意見が大きく対立し、利休さんは秀吉さんに憎まれていったということです。大昔のことなので、本当かどうかは分かりません。

みなさんに質問します。赤い茶碗と黒い茶碗、あなたはどちらの茶碗の方が立派だと思いますか？（子どもたちは、黒色の方が多く挙手していました）今、皆さんの好みが分かれたのと同じように、赤い茶碗を好む秀吉さんと、黒い茶碗を好む利休さんは、どちらも自分の考えこそが正しいとっていて、最後まで自分の意見を変えませんでした。



秀吉さんにとって価値ある色は「赤」であり、利休さんにとって価値ある色は「黒」だったのです。皆さんは、「色で命が奪われるの？」と思ったことでしょうか。最初に2人のことを簡単に紹介しましたが、それぞれに違う人生を生きてきた人です。生まれ育った場所、生活等全く違いますので、2人の価値観は違って当たり前です。価値観とは、皆さんが何かを決める際の「もと」となるもの、皆さん一人一人にある「ものさし」と、以前紹介しました。2人は、最後までお互いの価値観の違いを大切にすることなく対立してしまったために、最後は力のある秀吉さんによって利休さんは命を奪われてしまう形となりました。

今は、2026年です。様々な価値観の違いを大切に、相手の考えを大切にするためにまずは相手の考えを聞きましょう。そして「た（くまい子）・か（んかえる子）・ち（えのだせる子）」っ子を目指した皆さんだからこそ、明るい未来に向かって行ってほしいと思います。